

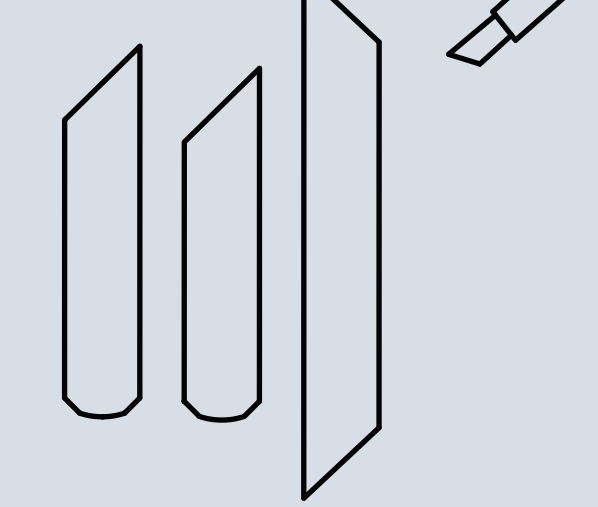
おりつくえ

- 折りを用いた紙製サイドテーブル -

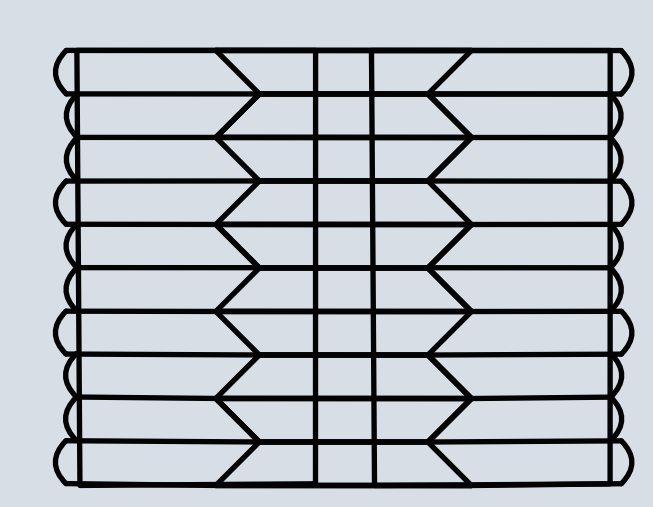


制作工程

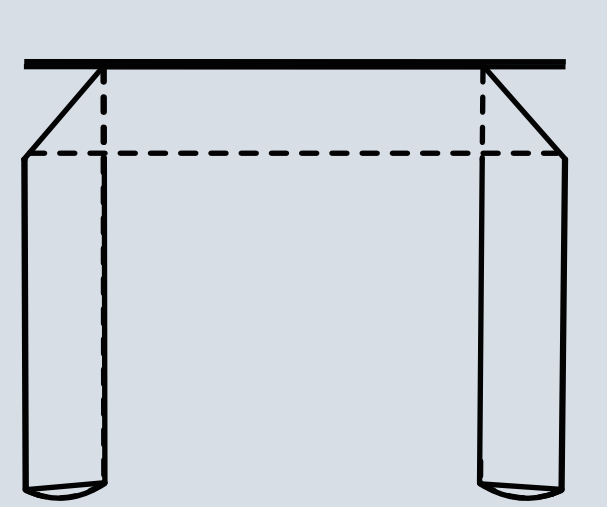
ボール紙の切り出し



タイベックに接着



組み立て



接着詳細

タイベック
($t=0.14\text{ mm}$)

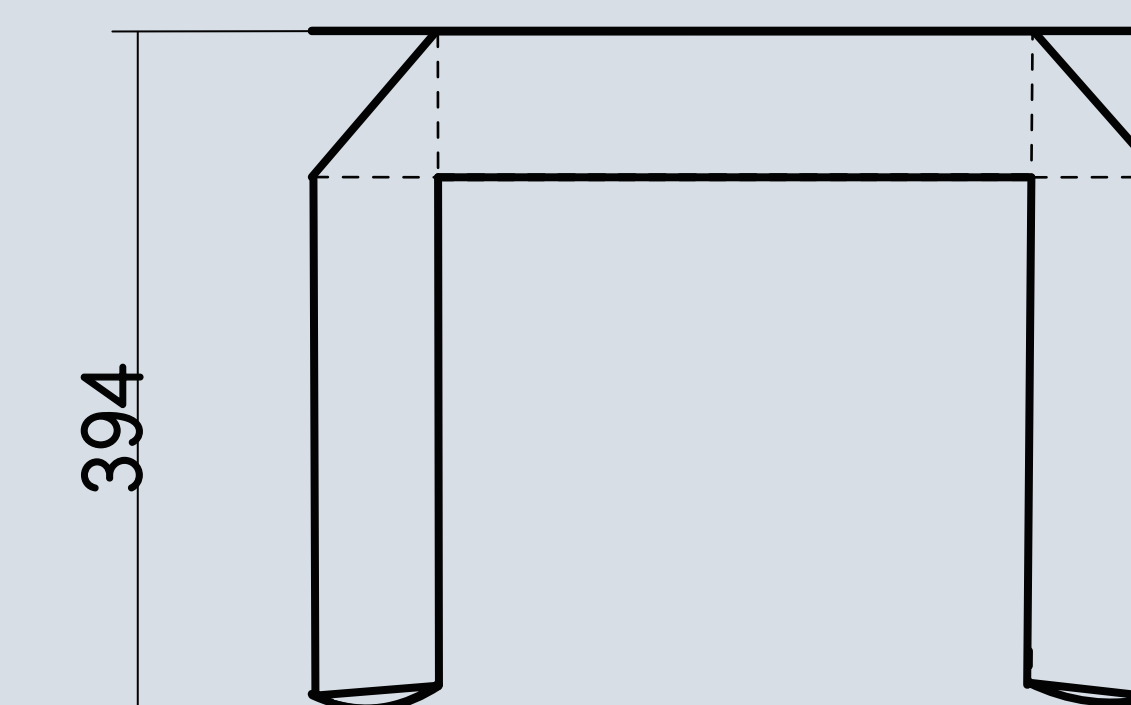
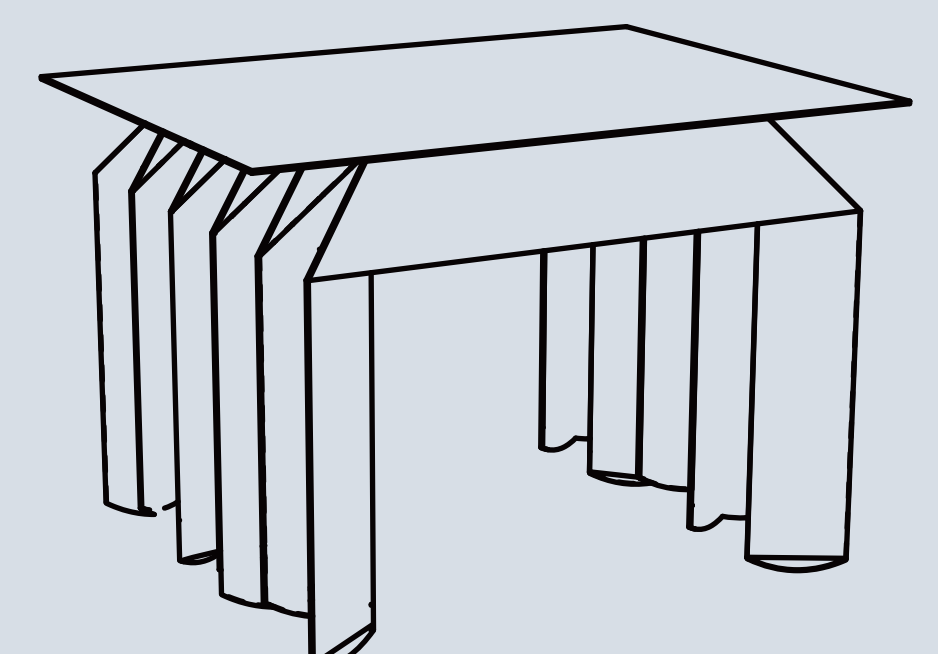
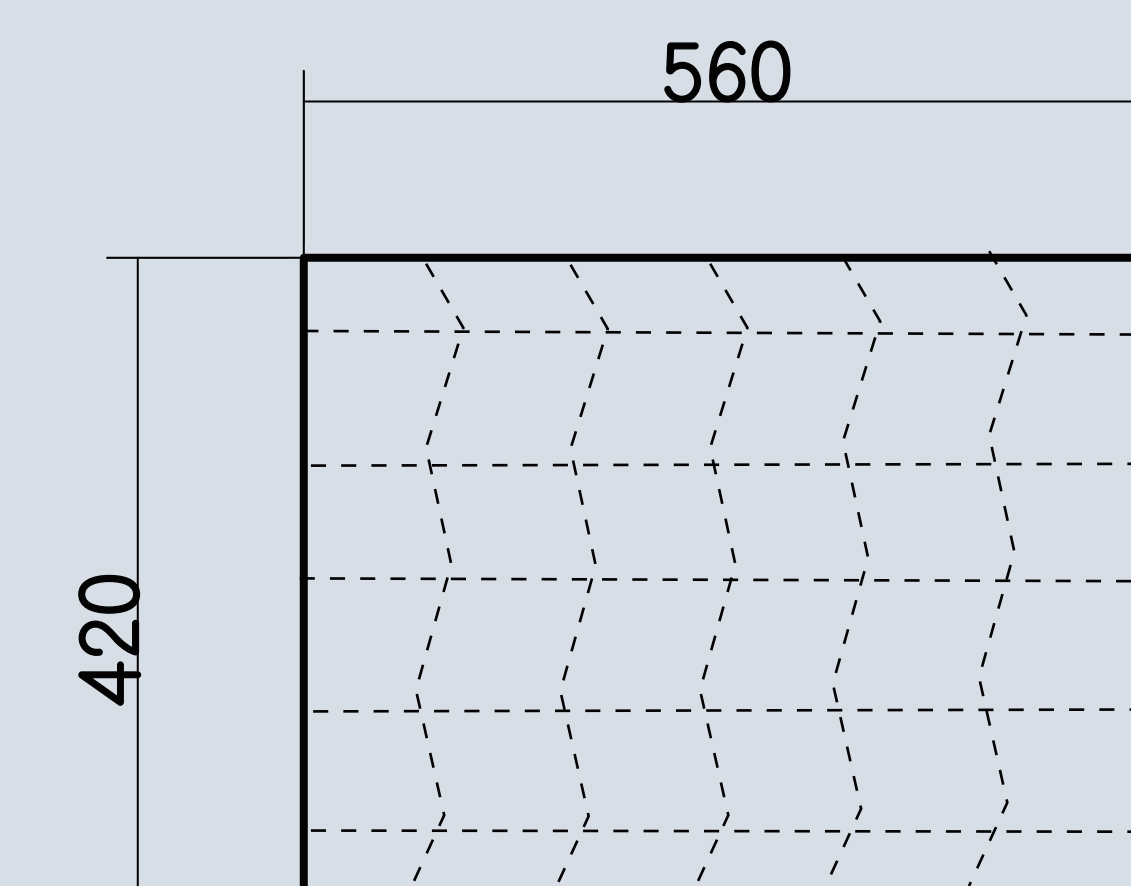
ボール紙
($t=1\text{ mm}$)

ボール紙
($t=2\text{ mm}$)

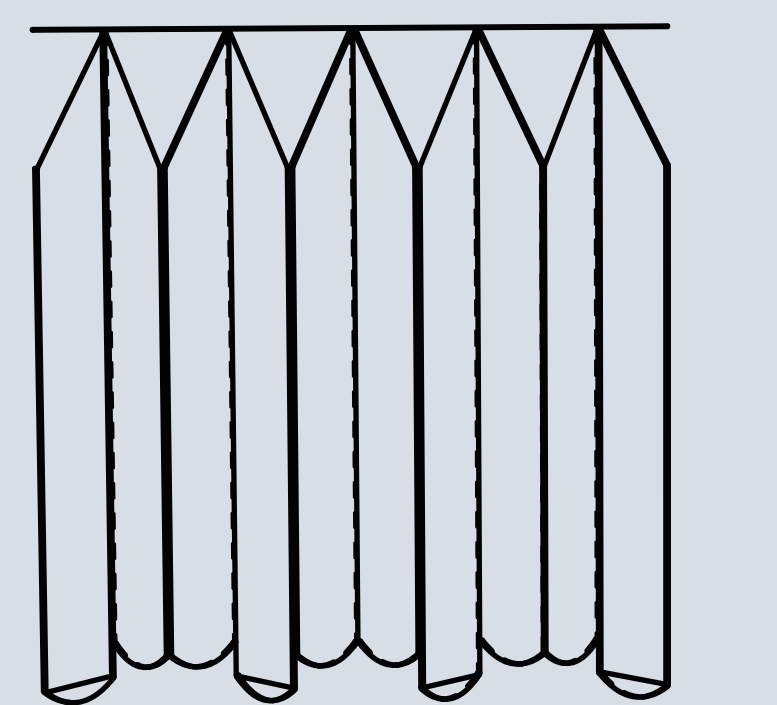
三面図 1:50

(mm)

平面図



正面図



側面図

背景・目的

折を用いた雑貨には、フラワーベースや照明などがあり、折りによる凹凸や陰影が立体的な表現や空間演出に用いられている。一方、テーブルなど日常的に使用される家具では、折りを造形や形づくりの主要な要素として活かした例は限られており、折りたたみ家具の多くは部材の回転や可動によって収納性を確保している。紙は軽量で加工しやすく、折りとの相性が良い素材であるが、紙の折りによって形状が成立する家具の実践例は多くない。そこで本研究では、使用時には簡単に展開でき、非使用時にはコンパクトに収納できる紙製サイドテーブルを提案する。

展開

脚と天板はそれぞれ独立して展開・収納でき、折りを広げることで使用時の形状になり、折りたたむことでコンパクトに収納できる。また、脚と天板は折り方が異なるが、いずれも展開時の動作が一方方向にそろ構成とした。

【脚・蛇腹折り】



【天板・ミウラ折り】



使用した材料

【脚】

ボール紙 (1 mm)

ボール紙 (2 mm)

タイベック (0.14 mm)

【天板】

ボール紙 (2 mm)

タイベック (0.22 mm)

【脚先カバー】

TPU (2 mm厚)